

けんしろうの ニュースレター

山あり谷あり

Vol.2
24/12/11発行
不定期

けんしろうの商品を購入された方や会ったことがある人向けにお届け！
お役立ち情報やコラム満載の個人新聞です。発行者：けんしろう

ごあいさつ

みなさまこんにちは。けんしろうです。自己紹介します。41才、鹿児島出身、台東区住み、3人兄弟の長男で商業高校卒業&HAL大阪ゲーム学科4年制を卒業しています。パソコンで文章を書くのが好きですが、人から依頼を受けて文章を書くのが苦手なのでライターではありません。またDIYでちょっとした小物をつくったり、色々と飾り付けるのが好きです。ニュースレター2回目の発行。ブログじゃなくて紙媒体にしたのは理由がありました。

けんしろうです!!



もう煽って数字を稼ぎたくない

私は今まで、ブログやXをつけて情報発信を続けていました。でもメンタル疾患(重度のうつ病)になって活動が止まってしまったんですね。具体的にはうつ病前から発信疲れが起きていたのですが、今年5月になってより発信がしんどくなったというか。

以前触れた「評価経済」の話、覚えていますか？今はお金をどれだけもっているかよりも、どれくらいのフォロワー数をもっているかとか、登録者数が何人いるかとかで評価される時代になっているという話。実際インフルエンサーという言葉が出来て、社長でもインフルエンサー力が求められるような時代。広告を打つよりもSNSという感じになっています。めちゃくちゃ上のお金持ちはそうでもないと思いますが、僕ら一般庶民にとってはSNSでフォロワー集めたら一発逆転できるぞ！みたいな夢物語があったりするわけですよ。実際にあるかは知らんけど。例に漏れず私もフォロワー数とかいいね数とか追っていました。フォロワーが増えないとイライラしたりいいね数が少ないとつい消してなかったことにしたり。評価されることに踊らされていたんです。いつしか全く投稿しなくなりました。しかし自分が鬱病になったときに「もしかしたらいいねつくかも」という淡い期待でブログを書いてXに投稿しました。予想通り大きな反響がありました。沢山の心配の声もいただきましたし、私に関わるお店の認知度もぐっと上がりました。しかし、

現場のスタッフに「あそこで働いていて大丈夫か？」と心配の声も多数届きました。これは予想外でした。障害者を差別する意図はなかったとは思いますが、その心無い声により、結果的には職場を混乱させてしまった。それはあの記事を書いた私に非がありました。

100RTされていい思いしたことはない

私はXで投稿したもののRTやいいねが100を超えると、その投稿からの通知をミュートするようにしています。なぜなら100を超えると自分が意図していない曲解した視点でリプライする人が増えてくるからです。それは文章に限らず、どんなに素晴らしい絵でも起こりえます。直接言ってくる分にはまだいいとして、空リブとかで言われたものがTLに流れてきた時、とてもしんどくなります。そういう時は投稿ポストへのコメントなどをミュートすればいいわけですが。このように拡散しすぎているものへの対応は上手く出来ているのですが、拡散されないとそれはそれで傷つきます。いろんなことを考えながら投稿しているので何も反応がないのは結構寂しい。天邪鬼ですよ。結果的に投稿がバズってもバズらなくても、評価経済の影響下で一喜一憂し、メンタルに来る。そりゃいつか元気になったら評価経済の元ガンガン発信してバズらせていきたいけど、今はとても疲れているし評価されたくない。でも発信したい意欲は俄然ある。

YouTubeとかTiktokもあるけれど、もっと手軽にやりたいなーと探しているうちこの形に落ち着いたわけです。

自分と無関係の人に無料で情報を送らない。

そして、発信する相手は僕と会ったことがある人か僕の商品・サービスを購入してくれた人に限りました。今までを振り返ると、名も知らない他人が事情も知らずに勝手に騒いで事が大きくなっていました。いわゆる「行間が読めない」というやつです。最近は本当に良くも調べず条件反射でSNSに投稿する人が増えていると感じます。昔は何か炎上しても引用元の記事を読んでしっかりと理解していた人が多かったのですが、何も考えずにぼんぼんとRTやいいねする人が多い。ついにX側も引用する前に記事ちゃんと読んでますかとアナウンスが入ったり、投稿自体に信憑性があるかのコミュニティノートがでてきたりと、無駄騒ぎをなくす努力をしています。Xとしては投稿数が増えるほうが広告収入が増えるので無駄騒ぎさせたほうがいい立場ですが、デマが増えると信憑性のないメディアと思われるマトモな広告主が離れてしまうので、無駄騒ぎは避けたいのでしょう。そういうわけで、無駄騒ぎを回避するために私と会ったことがある人と私の商品・サービスの購入者限定にニュースレターを送っています。

公式LINE+Lステップ・メルマガ・noteと色々試してたがダメだった。

この「けんしろうと会ったことがある人」だけに情報を発信する方法は難儀しました。候補に上がったのは公式LINE+Lステップ・メルマガ・noteの3つ。1つずつ説明すると公式LINEというのは個人のLINEアカウントではなく会社とかお店のLINEを作ることが出来ますよーというサービス。実は個人でもサブアカとして作ることが出来るので一度試しに作りました。しかし月額5,000円前後払わないとマトモに使えないため却下となりました。ちなみにLステップは一度友だちになった人に3日後、7日後、1週間後と登録からの日数ごとに違ったメールを送ることが出来るサービスです。これも月額5,000円するので合わせて月額10,000円。そんなお金をかける余裕はありませんでした。次にメルマガを試してみました。

こちらは月額3,000円前後でLINEと比べると安い。しかし、ネット通販ならともかく、僕が会った人に「僕の新聞を送るから、メアド教えてよ」といってメアドを手に入れられるだろうか？と疑問に。メルマガはネット通販やインターネット経由の仕事をもたらしたときに導入しようということで保留になりました。そしてnote。クリエイターの為の発信プラットフォームで、文字だけじゃなく音楽も動画も記事として発信OK。しかもそれらの記事にチップ(投げ銭)を投げられる機能が備わっている。まさに至れりつくせりの機能です！その中でもメンバーシップという月300円で情報を受け取れるよーというサブスクをやることできる。この機能を使おうと思ってnoteのアカウントを作ったのですが、どうやらこのメンバーシップでは無料会員は作れないらしい。僕は別にこのニュースレターについてはお金をとりたいわけではない。なぜならお金を取ればしっかり情報発信しないと追い込まれた気持ちになら。欲しくない機能でした。結果noteも断念。暗礁に乗り上げました。

結果、Xの鍵アカにたどり着いた。

色々試した結果、無料な上で会ったことがある人だけに情報を発信する方法として、Xの鍵アカが使いやすいとの結論になりました。僕が会う人はほとんどXアカウントを持っているので、Xアカウントを交換後、TLで「会ったことがある人だけ情報が見られる鍵アカ」の案内をすることにしました。鍵アカはフォローリクエストをOKしない限り、鍵垢の投稿は見れません。フォローリクエストのアカウントを見て実際にあったことがある人はフォロー承認して、会ったことがない人はお断りする。これで会ったことがある人だけフォロワーの鍵アカができます。ここに私のニュースレターを流すわけです。私の商品を購入された方には、手渡し商品と同梱してお渡しすればOK。これで僕の理想の情報発信環境が整いました。今のところ快適に情報を発信できているので、これから色々と手を入れて、もっと色々な方面の情報発信をしていきたいと思っています。

ここまでお読み頂きありがとうございました。今後ともけんしろうのニュースレターをよろしく願います！最新のニュースレターを受け取りたい方は、X(Twitter)の鍵アカへフォローをお願いします！(商品購入者&会った人限定)感想もお待ちしています！こちらのXのDMでもメールでもOKです！

